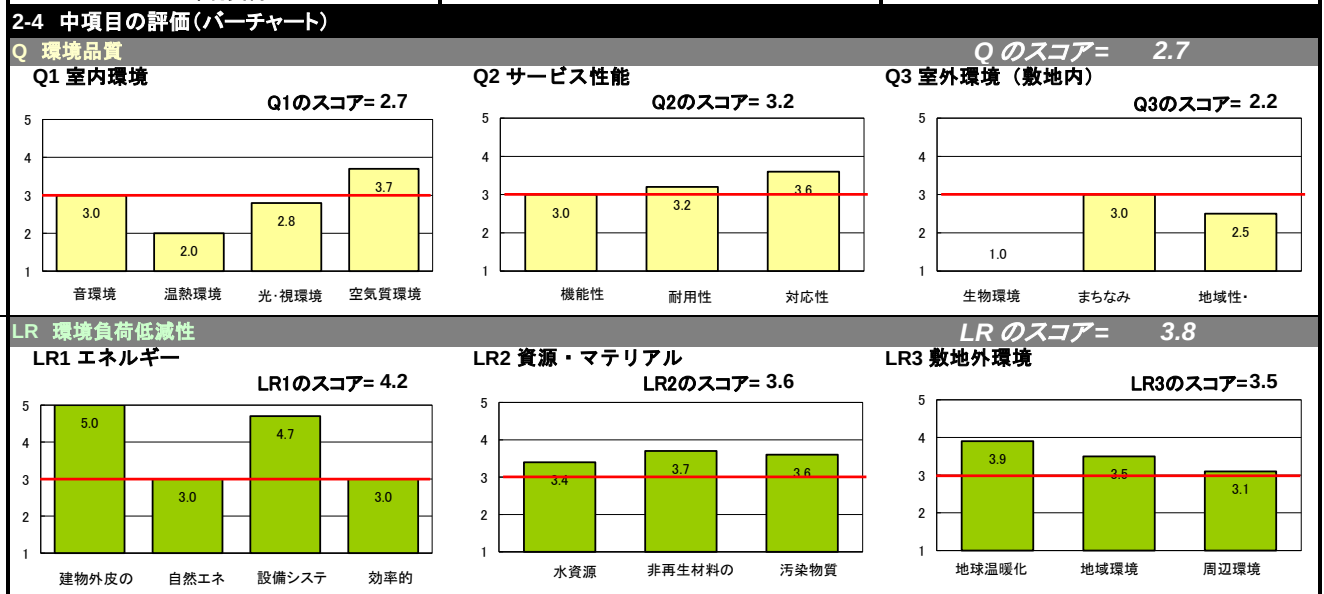
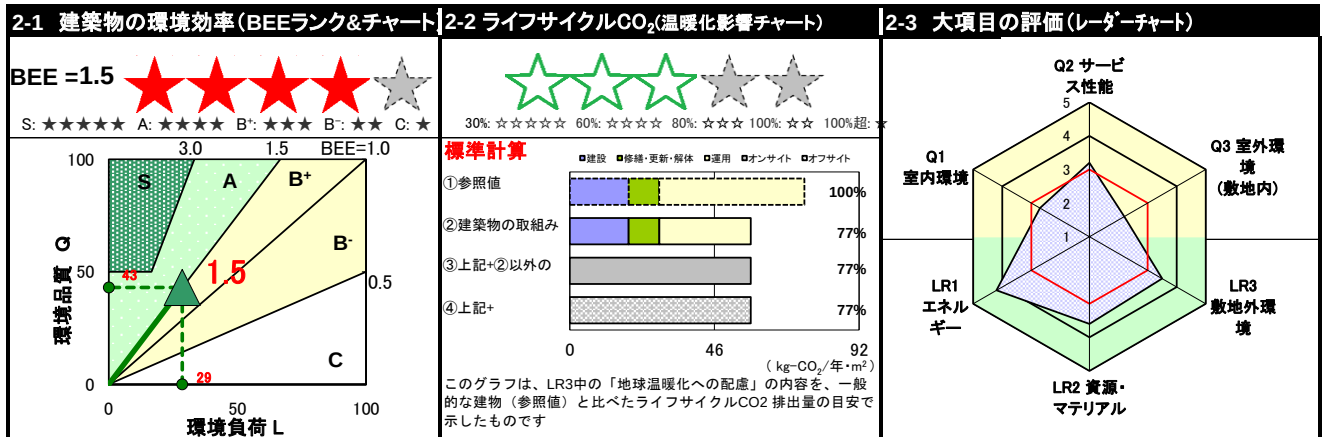


評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) ヤマト運輸株式会社 観音セ	階数	地上3F
建設地	広島県広島市西区観音新町4丁目2	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	120 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年10月 予定	評価の実施日	2024年5月12日
敷地面積	8,266 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社中国
建築面積	4,815 m ²	確認日	2024年5月13日
延床面積	9,836 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社中国



3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア= 3.5		
「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア= 4.0	スコア= 1.7	スコア= 3.3
設計の計画上位段に配慮した事項	設計の計画上位段に配慮した事項	設計の計画上位段に配慮した事項
BPI _{lm} =0.70。// BEI _{lm} =0.63。// 節水型水栓に加え、節水型便器を採用。 リサイクル建材を多用している。 LGS下地に加え、OAフロアを採用している。// LCCO ₂ 排出率=77%。		外壁仕上: 長尺カラーガルバリウム鋼板40年。 給水管: VLP、排水管: VP、通気管: VP、Eは不使用。// ケーブルラック配線を採用。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される